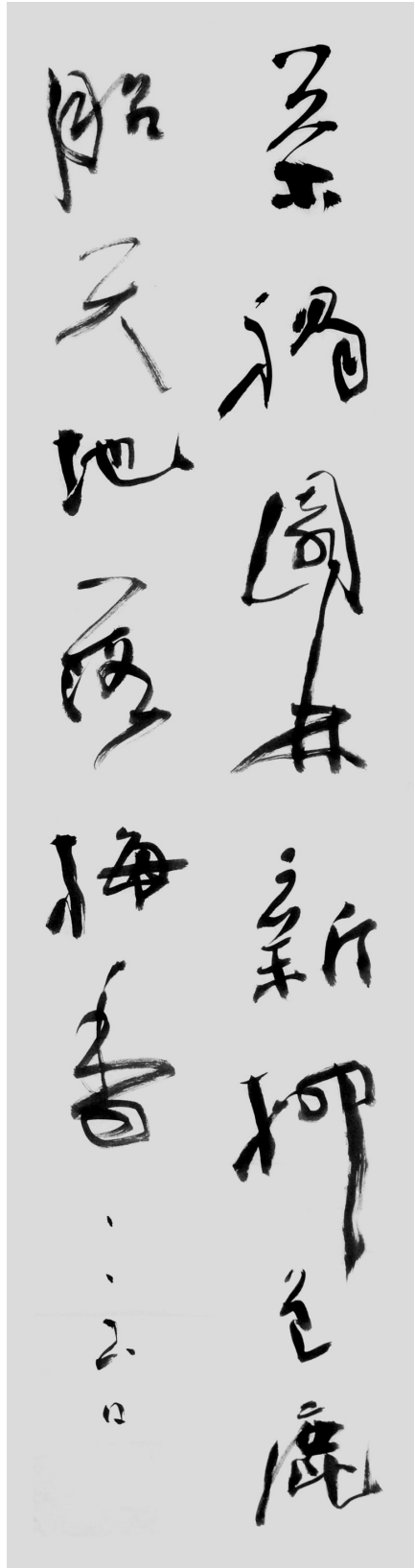


5月28日正午必着

明石春浦先生書



茶褐園林新柳色。

鹿胎天地落梅香（李 覲）

茶褐は色名即ち黄黑色。鹿胎の鹿は麓の略。麓は山の足。周禮の鄭注に竹木の平地に生ずるを林といい山足に生ずるを麓という。

三浦士岳先生書



問春何處來。

春來在何許。

幽禽自相語。

閣前に一株の梅があるから、それに向つて問を發し、春は何處から來るか、春が來て何處に居るかといった處が、やがて、殘月、西に落つる頃になつても、花は物いはず、兎角する内、夜があけて、幽禽が梅の梢に上つて囀り、恰も其處を指し示して居るやうである。

5月28日正午必着

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

禮之用和爲貴（論語）

礼は之を和に用いて貴しと爲す。

礼を行うには、和がもっとも大切である。

日暖魚跳波面靜
風輕鳥語樹陰涼

（歐陽修）

日暖かく魚跳りて波面靜かに、
風輕く鳥語り樹陰涼し。

湖上に遊んだ景である。

送友人尉蜀中（徐晶）

友人の蜀中に尉たるを送る
徐晶

故友漢中尉 請爲西蜀吟

故友漢中の尉 請う西蜀の吟を爲さん

人家多種橘 風土愛彈琴

人家多く橘を種え 風土琴を弾ずるを愛す

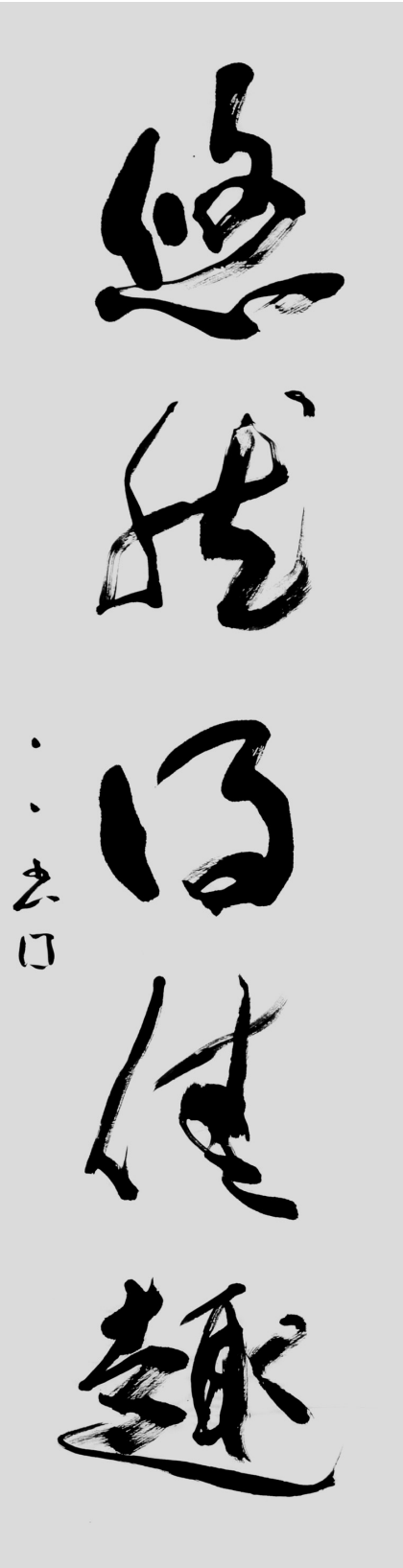
水向昆明闊 山通大夏深

水は昆明に向かつて闊く 山は大夏に通じて深し

理閑無別事 時寄一登臨

理閑にして 別事無くんば 時に一登臨を寄せよ

わが門のあふちの花の咲きそめて 散るまで晴れぬ 五月雨の空
（加藤 枝直）



森戸春濤書

悠然得佳趣（傳察）
悠然はゆったりとした氣持。

半紙部規定課題A

5月28日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月28日正午必着

行書

千峰不
可尋

隸書

千峰不
可尋

明石春浦先生書

草書

千峰不
可尋

行草書

千峰不
可尋

徳高き上人、本来の姓は竺といひ 菩薩のごときお方、もとの名は林といひ
 いったん春山の中に行っておしまいなれば 数知れぬ峰々の奥、お尋ねすることもできません
 新たなる年に、春のかぐわしい草があたりいぢめに茂り 一日じゅう、白い雲は深くとざしこめる
 ささやかな官職にこの身を捧げて行こうとしておりますが この凡俗の心を奇妙に思っておられることが、ここからでも
 わかります

寄「靈一上人」

劉長卿

高僧本姓竺
 開士舊名林
 一去春山裏
 千峰不可尋
 新年芳草遍
 終日白雲深
 欲徇微官去
 懸知訝此心

靈一上人に寄す

劉長卿

高僧 本姓は竺
 開士 旧名は林
 一たび春山の裏に去り
 千峰 尋ね可からず
 新年 芳草遍く
 終日 白雲深し
 微官に徇って去らんと欲す
 懸かに知る 此の心を訝るを

(出典)

朝日新聞社刊
 「三体詩」下より

条幅部半紙部臨書課題

歸法胤母高氏久而無
 妊夜夢諸佛覺而有娠
 是生龍象之徵無取熊
 羆之兆誕彌厥月炳然
 殊相岐嶷絕於輦茹髻

(慶)歸法胤母高氏久而無妊夜夢諸佛覺而有娠是生龍象之徵無取熊羆之兆誕彌厥月炳然殊相岐嶷絕於輦茹髻

夜夢諸佛覺而有娠是
 生龍象之徵無取

夜夢諸佛。覺而有娠。是生龍象之徵。無取。(熊/熊之兆)

是生龍
 象之徵

是生龍象之徵

唐 顏真卿・多寶塔碑

顏真卿(七〇九〜七八五)は、琅邪臨沂(山東省)の人で、字は清臣。代々、学者で能書家でもある家柄に生まれた彼は、幼くして父を亡くしたが、刻苦勉強して二十六歳の時に進士に合格し、以後唐王朝に生涯忠誠を尽したが、節を曲げぬ忠義剛直な人柄であるがゆえに、時の権力者に疎まれ、たびたび地方に左遷された。

顏真卿を一躍有名にしたのは、安祿山の謀反であった。唐朝を震撼させたこの事件は、彼の活躍で国家の危機を免れたのである。この功績を期に既に名があった彼の書もますます注目を浴びるようになった。

唐代は、王羲之流の典雅な貴族的書風を継承する風潮が強かったが、顏真卿はそれにはあきたらず、自由な精神をもちこもうとした。彼の性格そのままに、質朴で強靱な書風を形成していったのである。彼の書は一碑一面貌といわれ、その時々々の感興によって調子が異っており、一ごとに工夫が凝らされているといわれる。楷書においては、蚕頭燕尾といって、藏鋒による起筆の丸みや燕の尾に似た払い等、独特な表現法があるが、全体的には向勢に形をとり、懐の広い重厚な書風が特徴である。

この多寶塔碑は、安祿山の乱以前、顏真卿が四十四歳の時に書かれたもので、今日見られる彼の作品の中では最も早い時期のものである。後の楷書のような個性的な筆法はあまり見られないが、顔法と呼ばれる書風の基礎を成していて、結構法的には完成度が高い。肉厚な線の内に筆力を込めた運筆法を修得したい。(春濤)

5月28日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

すい
推

り
理

中学一年



菅井松雲先生書

えん
演

そう
奏

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



かん
完

せい
成

小学五年

榎戸春龍先生書



しょう
招

たい
待

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月28日正午必着



藤田幸春先生書

にっ
日

こう
光

小学三年



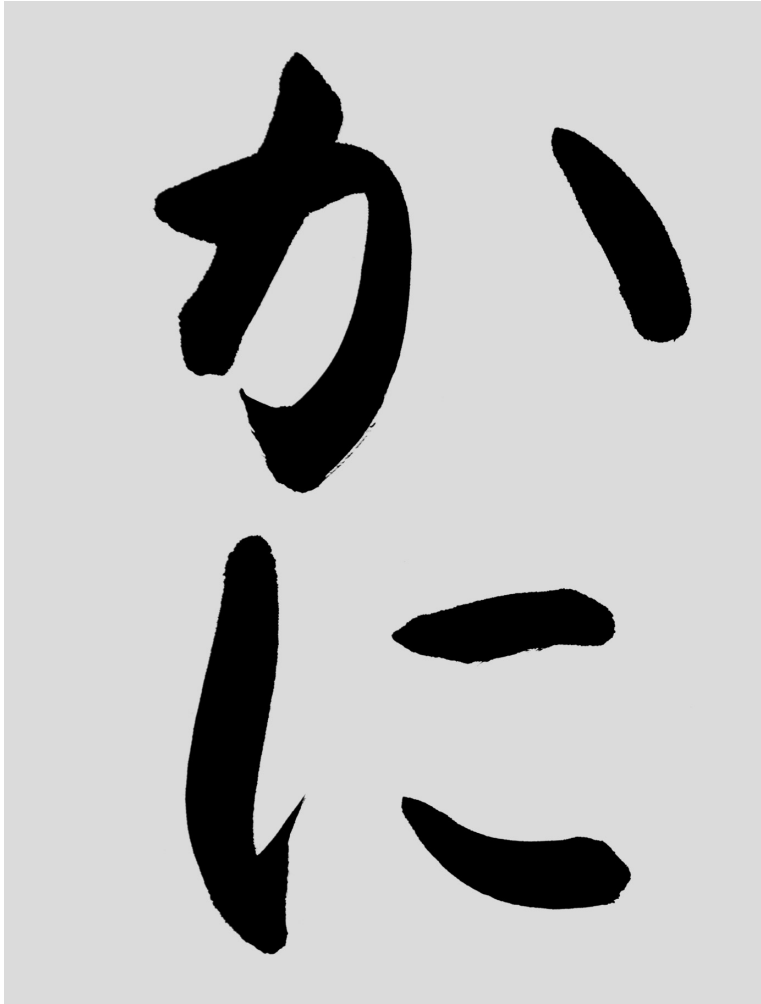
細谷春誠先生書

ほん
本

しゅう
州

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

か に 小学一年・幼年



森戸春濤書

ふる古 い 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月28日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

牛にゆうを加工して
チーズを作った

小学五年

自分の力を思うぞ
んぶん発揮しよう

小学六年

君の運命の星は君自
身の胸の中にある

中学

自ら疑問をとく努力こ
そが真の教育である

一般(級位)

浅みどりの初しほそむる春雨に野なる草木ぞ色まさりける
あはれなる草木ぞをまかりける

浅みどりの初しほそむる春雨に野なる草木ぞ色まさりける(土御門院)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

こ	そ
い	ら
の	を
ぼ	
り	お
	よ
	ぐ

幼年

た	し
か	や
く	ぼ
と	ん
ば	玉
そ	を
う	

小学一年

花	校
だ	て
ん	い
が	の
あ	す
る	み
	に

小学二年

ぐ	五
	月
こ	の
い	空
の	に
ぼ	お
り	よ

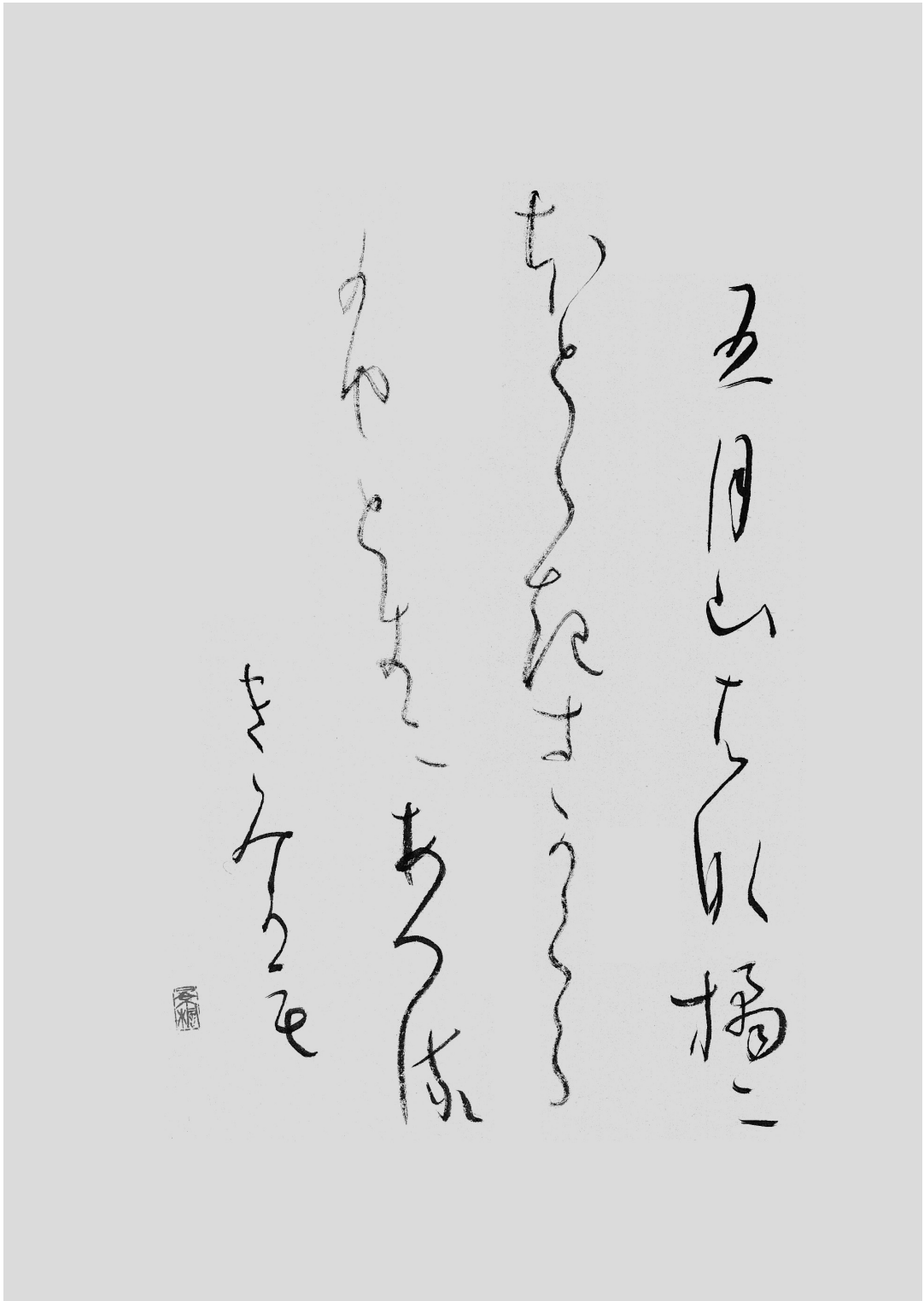
小学三年

が	歩
	く
	た
	び
	に
	つ
	り
	橋
	た

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

五月山 さつきやま
 者那橋 はな 橋 はな に に ほと ほと ぎ ぎ す す
 可 可 くら くら ふ ふ と と き き に に あ あ へ へ る る き き み み か か も も
 流 流 可 可 毛 毛
 (万葉集)